



2024 年 11 月 27 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

鉄道運輸機構労働組合と意見交換を実施！

J R 連 合 は 11 月 12 日、鉄道運輸機構労働組合（鉄構労）と、整備新幹線計画の推進等をはじめとする産業政策等について、意見交換を実施した。

鉄構労は、新幹線建設や在来線の新線整備等の事業に携わる「鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JRTT）」の仲間が集う労働組合であり、交運労協に加盟する仲間でもある。事業の内容からとりわけ J R 連 合 と の 関 わ り が 深 く、こ れ ま で も 定 期 的 に 情 報 交 換 を 行 っ て き た。



今回は、鉄構労の役員が改選され、大きく顔ぶれが変わったため、これまでの取り組みを振り返るとともに、今後の方向性を改めて確認するために意見交換を実施した。

鉄道建設の中でも、特に整備新幹線建設をめぐる環境は、少子化による人口減少に加え、各種資材の高騰や建設業における人手不足などの影響により、一層厳しくなっている。こうした状況を打破するため、J R 連 合 と 鉄 構 労 は 2023 年 2 月、「地域活性・発展の礎となる鉄道網の構築を目指して～高速鉄道・新幹線ネットワークの構築と計画推進に係る政策提言～」を策定し、関係各所へ高速鉄道の必要性・有用性を訴えてきた。

今回の意見交換では、本提言に記載されている、北海道（新函館北斗～札幌間）・北陸（敦賀～新大阪間）・西九州（新鳥栖～武雄温泉間）・リニア中央各新幹線の早期開業にむけて、現状の課題を確認するとともに、今後の取り組みについて知恵を出し合った。さらに、四国新幹線の整備計画への格上げに向けた調査の早期再開や、新幹線の開業に伴う社会的・経済的な効果を広く考慮したうえで、費用便益比（B/C）によらない便益を検討することなど、幅広く意見を交換するとともに、J R 連 合 が 計 画 し て い る 署 名 活 動 に つ い て 理 解 と 協 力 を 求 め た。

また、これまで J R 連 合 が 主 催 す る 政 策 活 動 や ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 に 鉄 構 労 メ ン バ ー も 参 加 し て き た こ と を 共 有 し、今 後 さ ら に 連 携 を 深 め て い く こ と を 確 認 し た。

人口減少局面にはあるものの、高速鉄道・新幹線ネットワークを拡充することが、国土の均衡ある持続的な発展につながり、地域・社会の発展に寄与していくことは、これまでの新幹線整備の実績からみても明らかである。J R 連 合 と 鉄 構 労 は、引 き 続 き 密 に 連 携 を 行 い、高 速 鉄 道 ・ 新 幹 線 ネットワーク構築の有用性を訴えていくこととする。



鉄構労とともに策定した「提言」